

価値創造基盤の強靱化策

2030年ビジョンを実現するための価値創造基盤の強靱化策

		2030年に目指すべき姿	INPUT（経営資源）	対処すべき課題（短期、中長期）
価値創造基盤	 研究・開発 川村センター長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 低炭素化製品・環境対応製品の本格実装 ■ AI、IoT技術を活用した自動化製品の実装 ■ 製品開発行為のグループ会社全体への貢献 ■ 新製品売上高比率10% 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 研究開発費：8.7億円 ■ 開発部門エンジニア：35名 ■ グループ会社全体での製品開発リソース共有 ■ お客様、外部機関との共同開発 ■ 4つ+αのコア技術（乾燥・混練・搬送・制御）+計測 	<ul style="list-style-type: none"> ■ コア技術継承、発展のための人材育成 ■ 脱炭素化に向けた短期、中長期の製品開発 ■ 環境関連プラント拡販に向けたコア装置の開発 ■ グループ会社内での開発リソースの適正配分 ■ 社会実装数増加に向けた開発速度の向上
	 営業・コンサルティング 山本部長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 次世代グリーンソリューションの提供 ■ デジタル革新によるテレオペレーションシステム化 ■ ASEAN市場プラント業界のトップランナー ■ エンジニアリングソリューション企業 	<ul style="list-style-type: none"> ■ マーケティングインテリジェンスの実施 ■ グローバル化への組織と人材採用 ■ 全グループ会社と代理店会のマーケット ■ 全グループ会社と関連企業の知的財産 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 環境未来型テクノロジーの具現化 ■ 企業変革を導くアドバイザー深化 ■ クロスボーダー・パートナーシップの構築 ■ ASEANマーケットへの戦略的展開 ■ グローバル×次世代対応の人材アーキテクチャ構築
	 企画・設計 上原統括部長	<ul style="list-style-type: none"> ■ プラントのソリューションプロバイダ ■ お客様と社会の双方に価値を生む企画提案 ■ 遠隔、自動、省人化のトータルサポート ■ グローバル標準製品の海外展開 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 顧客ニーズに応えるスキル・技能集団 ■ コア技術（混練・加熱・搬送・制御） ■ プラント設計のノウハウ蓄積、技術基盤 ■ 技術設計パートナー会社との協働体制 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 計画的な人材採用、育成によるナレッジワーカー増強 ■ 量産化構想の実現、機能設計から生産効率を上げる ■ 新型操作盤の早期展開と自動化に向けた高機能化 ■ 顧客ニーズに対応した標準コア製品の充実 ■ 安全性と省人化、品質における顧客満足度の向上
	 調達 小林部長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安定調達とコスト適正化の両立 ■ 調達先との情報共有、良好な信頼関係 ■ 日エグループ各社との購買コミュニケーションの充実と相乗効果の創出 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 調達基盤を構築する人材と資材倉庫 ■ 調達先パートナーシップ構築 ■ 日エグループ全体の購買情報 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 中長期的な1社購買リスクからの脱却 ■ 調達先の廃業や部品生産中止時の速やかな代替 ■ 在庫品管理の適正化のための施策 ■ 購買業務の安定化と属人的業務の効率化
	 製造 山田本部長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 生産性10%UP ■ 柔軟な多品種短納期対応の推進 ■ 品質向上と製造原価低減の両立 ■ タイ現地法人の生産性向上 ■ 日エグループとの製造連携、相乗効果 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 機械加工職など大規模レイアウト変更 ■ 条鋼加工機3基目導入、加工ライン刷新 ■ 組立・仕上工場の新設(992㎡) 仕上組立・試運転・検査の対応力、 特殊品の生産能力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 残業時間の適正化 ■ 多能工化の推進と柔軟な補間体制構築 ■ 多品種少量、向け先、特殊品の対応力を強化 ■ 品質向上と製造原価低減の両立 ■ タイ現地法人の製造技術の教育指導
	 施工 野口課長	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施工技術者60名(従来比+10名)へ ■ 現場管理技術者、主任技術者を増強し、あらゆるプラント設置工事を担う ■ 工事計画、安全書類などをデジタル化し誰もが行える体制 ■ エリアを本社から東西へ増やす(2025年以降) 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 施工技術者29名(+5名) うち現場管理技術者9名、主任技術者18名 ■ 全国の協力工事店 ■ 組立から運転調整まで一気通貫体制 	<ul style="list-style-type: none"> ■ 安全作業かつ安全指導への対応 ■ 新規協力工事店の発掘、他部署との連携 ■ 設計・施工段階で施工しやすい構造 ■ 人員の増強(管理技術者、主任技術者)
	 メンテナンス 曾根企画部長	<ul style="list-style-type: none"> ■ アセットマネジメントによるプラント管理運用サービス開始 ■ カスタマーサポートのグローバル対応 	<ul style="list-style-type: none"> ■ フィールドサービスマン150名 &フロントサービスマン30名体制へ ■ フロント業務移管、組織の強化 ■ 現場安全管理、機械管理システムの構築 	<ul style="list-style-type: none"> ■ アフターメンテナンスからピフォアメンテナンスへの展開 ■ 現場対応人材獲得【①フィールドサービス社員150名&フロントサービスマン30名体制へ】、【②工事SV80名体制と主要拠点への配置】、【③協力会社の増強】 ■ メンテナンスパーツ供給ネットワークの増強 ■ プラント稼働の遠隔管理、稼働データを活用した予防予知への対応

対応策（短期、中長期）	進捗・見通し	2024年度評価
<ul style="list-style-type: none"> ■ コア技術継承・人材育成推進のための専門部署設置（開発支援部） ▶ 2025～2027年度の開発人員15名採用（新卒+キャリア） ■ 優秀な外国人人材の積極採用 ■ アジャイル開発手法の定着と従来手法との併用による開発効率向上 ▶ グループ会社との共同製品開発推進（開発協議会の設置） ■ 新規コア技術獲得に向けたリソース再配分（計測技術・破碎技術など） 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2025年度 新卒3名 キャリア2名（予定） ▶ 外国人技術者 2名在籍 ■ 生成AIを用いた技術継承システムの開発と人材教育プランの策定 ■ 再生燃料・バイオマス燃料・水素・アンモニアなど次世代燃料燃焼の基礎技術獲得済 ▶ 日工セック、日工マシナリーとの共同製品開発中 	○
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 最新プロダクトのエクスクルーシブショーケース ▶ パートナーとの連携による価値共創型マーケティング・開発・教育 ■ グローバル戦略部門で製品展開と提携支援を強化 ■ ASEAN戦略室によるタイ現地法人とのシナジー推進 ■ 未来を担う人材の積極採用 ▶ 業界連携を通じたグリーン製品の戦略的普及 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2025年10月、新製品展示会を開催予定 ▶ タイ・ベトナムにて、現地パートナーと連携体制を確立 ▶ タイ工場を舞台に、ASEAN向け展示会を実施 ▶ エネルギー転換に対応した環境配慮型製品を新たに開発 ■ ASEANニーズに即した次世代リサイクル技術を実証検証中 ▶ 変化する市場環境に対応すべく、従来の枠組みにとられない事業モデルの進化に取り組み中 	○
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2025～2027年度の技術者採用+40名 ▶ 国内外の場所を問わない設計で生産拠点を広げる ▶ 製造部門の品質と生産性向上に対する技術的関与 ▶ 標準的なコンベヤ設計など規格製品は外部委託設計に移行 ■ 品質、機能設計、操作盤にかかわる重点取り組みは専門部署で推進 ▶ グループ各社が持つ技術で協働、新たなシナジーを生む ■ 競争力あるグローバル製品群の確立と海外展開 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 2025年度（採用見込み） 新卒8名（うち制御分野3名）、キャリア採用4名 ▶ 技術部独自の若手技術者教育カリキュラムを導入 ▶ 付加価値の高い新たな発想のスタンダードプラントを開発 ■ 設計品質の組織を強化及び機能設計を推進する専門部署立上げ ▶ グループ会社の技術の棚卸し、情報共有ワーキングの実施 ■ DXに対応した新型操作盤の販売促進と高機能化へ取り組み 	○
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規採用メーカー開拓の推進、分散購買によるリスク回避 ▶ 技術部門と協業した機能購買の推進、購買情報の共有 ▶ 在庫管理規則の再構築、長期在庫品の整流化 ▶ 属人的業務の継承推進、購買業務DXに向けた骨組みづくり ■ 往訪による調達先の現況把握と対話の継続 ▶ トータル品質向上のための機会創出、講習会開催 ▶ 在庫管理規則の再考、業務システムと倉庫区画の連携 ■ 段階的な業務継承実施の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 往訪による調達先の現況把握と対話の継続 ▶ トータル品質向上のための機会創出、講習会開催 ▶ 在庫管理規則の再考、業務システムと倉庫区画の連携 ■ 段階的な業務継承実施の継続 	○
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工場建屋の建設による生産スペース拡大 ▶ 老朽設備の更新、新設備の導入と生産設備の開発 ▶ 工場レイアウトの再構築 ■ 多能工化の推進 ■ 外国人技能実習生の活用と高技能教育 ■ 人材ローテーション実施の継続 ▶ 若手班長・リーダー登用による活性化を継続 ▶ 新組立工場の建設を着手（2026年夏竣工） ■ 日工マシナリー、宇部興機、松田機工との相互製造連携 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工場建屋の建設による生産スペース拡大 ▶ 老朽設備の更新、新設備の導入と生産設備の開発 ▶ 工場レイアウトの再構築 ■ 多能工化の推進 ■ 外国人技能実習生の活用と高技能教育 	○
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工事計画、安全書類のデジタル化（Web化、Web上での作業） ▶ 施工しやすいユニット構造（設計と協力）、社内完成度向上 ▶ 安全作業できる構造設計の推進 ■ 積極的に全国工事店と交渉（新しい工事店の発掘） ■ 現場での安全管理体制の向上（現場管理者2名以上の体制づくり） ■ 製品完成度向上、安全に施工できる仕組みづくり ▶ 安全に施工できる工事工程の見直しへの取り組み ▶ 新規工事店2社、さらなる協力会社発掘への取り組み継続 ■ 施工技術者の増加5名（2025年は5名増員） ■ 関東に東部エリアを設ける 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 工事計画、安全書類のデジタル化（Web化、Web上での作業） ▶ 施工しやすいユニット構造（設計と協力）、社内完成度向上 ▶ 安全作業できる構造設計の推進 ■ 積極的に全国工事店と交渉（新しい工事店の発掘） ■ 現場での安全管理体制の向上（現場管理者2名以上の体制づくり） 	△
<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次世代診断による予知保全、次世代型予防・予知保全移行推進とプラントの進化 ▶ 人員採用と緊急修理削減、分業化での効率化 ▶ グループネットワークを駆使し生産拠点の増強、外部倉庫の有効活用 ■ 協力工場での実運用を開始しブラッシュアップ ■ APユーザー9件 BPユーザー30件契約済、以後年20件の契約見込み ▶ エリアフロント担当設置予定 ■ データ監視運用開始 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 次世代診断による予知保全、次世代型予防・予知保全移行推進とプラントの進化 ▶ 人員採用と緊急修理削減、分業化での効率化 ▶ グループネットワークを駆使し生産拠点の増強、外部倉庫の有効活用 ■ 協力工場での実運用を開始しブラッシュアップ 	○